

2022年度 文学部校友会 懇親会のご案内

とき

2022年11月6日(日)

11:30~14:00(10:30~受付開始)

ところ

ホテルオークラ京都(3F 翠雲の間)、Web 配信

〒604-8558 京都市中京区河原町御池 TEL.075-211-5111

地下鉄東西線「京都市役所前駅」直結

企画① 講演会・クロストーク(対談)

🕒 12:00~13:00 (予定)

会場

Web 配信

演題

「小説家デビューから 3年経って」

たかせじゅんこ
高瀬隼子氏

クロストーク

たにとおる たき もとかず なり
谷 徹 名誉教授・瀧本和成教授



高瀬隼子氏



谷徹名誉教授



瀧本和成教授

高瀬隼子氏

2011年に文学部哲学専攻を卒業後、会社員として勤務しながら執筆した小説『犬のかたちをしているもの』で「第43回すばる文学賞」を受賞、文芸誌『すばる』に掲載されデビュー(単行本は集英社、2020年2月刊)、『水たまりで息をする』(集英社、2021年7月刊)が「第165回芥川賞候補作」に選出された。また、近著である『おいしいごはんが食べられますように』(講談社、2022年3月刊)も、「第167回芥川賞候補作」に選出され、2年連続のノミネットとなる。

谷徹名誉教授(人間研究学域 哲学・倫理学専攻)

文学部哲学・倫理学専攻に所属し、「現象学」を中心に、ヨーロッパの現代哲学を専門領域とする。著書『これが現象学だ』(講談社、2002年11月刊)は増刷を重ね、日本の現象学研究をリードしている。現象学を間文化現象学へと発展をさせ、本学に間文化現象学研究センターを創設した。その後10年間、所長としてセンターを世界的な研究拠点へと成長させた。2020年4月にはこれら学内外での顕著な功績が評価され名誉教授の称号が授与された。高瀬隼子氏の在学中の指導教員。

瀧本和成教授(日本文学研究学域 日本文学専攻)

文学部日本文学専攻に所属し、日本近現代文芸(文学・芸術)を専門領域とする。森鷗外を中心に、夏目漱石や芥川龍之介などに代表される明治から大正期にかけての文学者のみならず、大江健三郎や村上春樹といった現代文学まで幅広く研究対象とする文学(史)研究者であり教養人である。文学作品に留まらず漫画やアニメなどのサブカルチャーや映像作品にも深い造詣を有する。近年では教養教育センターの主催するウェビナー講座「SERIESリベラルアーツ:自由に生きるための知性とはなにか」でも複数回の講演を務めている。

企画② ミニ講義

🕒 13:10~13:50 (予定)

会場

Web 配信

演題

「近代文学と 京都・立命館」

たき もとかず なり
瀧本和成教授
(日本文学研究学域・日本文学専攻)

参加対象

文学部校友会員※・文学部卒業生

▶ ※立命館校友と文学部校友は異なりますのでご注意ください(詳細は会報P.8「入会案内(2006年度以前にご卒業の皆様)」をご覧ください)。

定員 会場定員120名(応募者多数の場合には先着順とさせていただきます。)/ Web参加300名

参加費

※Web参加は
無料です。

文学部校友会員 1,000円/非会員(入会いただいていない方・同伴の方) 2,000円

▶ 無料招待枠 2017~2021年度卒業生(2017年9月~2022年3月卒)、卒業後10年(2010年9月~2012年3月卒)、卒業後50年(1970(昭和45)年~1972(昭和47)年)の文学部校友会員の方は無料でご招待いたします(※懇親会非開催年度分を遡及して無料招待枠を設定しております)。

※懇親会ではお食事(お弁当)をご提供させていただきます。

懇親会に参加をご希望の方は以下のどちらかの方法でお申し込み下さい

Web 申込

▶ 立命館大学文学部校友会HP ▶「イベント」▶「懇親会参加申込」(<https://secure.ritsumei.ac.jp/forms/italumni/events/>)からお申し込みください。



ハガキ申込

▶ 校友会報「LETTERS(Vol.14)」内の折り込みハガキに必要事項をご記入の上お申し込み下さい(切手不要)。

申込期限

2022年9月30日(金)
〈必着〉

※新型コロナウイルスの感染状況により、懇親会の実施形態が変更になる場合がございます。その場合は文学部校友会のホームページやFacebookでご案内させていただきます。

【お問合せ先】立命館大学文学部校友会事務局

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL:075-465-8187 FAX:075-465-8188
E-Mail: italumni@st.ritsumei.ac.jp HP: <http://www.ritsumei.ac.jp/italumni/>